

2026年9月14日

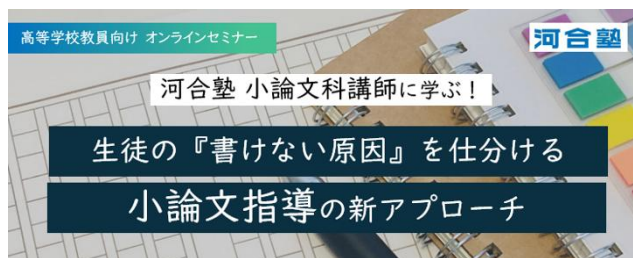
報道機関 ご担当者 各位

学校法人 河合塾
経営戦略推進室

高校教員が抱える進路指導の課題解決を河合塾が支援 ～「探究学習の進路接続」と「年内入試対応」をテーマに教員向けセミナーを開催～

学校法人河合塾は、全国の高校・中高一貫校の教員を対象に、進路指導をテーマとした2つのセミナーを開催します。探究活動と進路指導をつなぐ授業型プログラム体験セミナー（対面・WEB）と、総合型・学校推薦型選抜における出願書類や小論文の指導をテーマとしたセミナー（WEB）を通じて、学校現場が抱える課題解決を支援します。両セミナーでは、進路指導の質向上と教員の指導負担軽減につながる実践的な内容を紹介します。

■ 高校現場で高まる進路指導の課題



近年、高等学校では「総合的な探究の時間」の充実や総合型選抜・学校推薦型選抜の拡大など、進路指導を取り巻く環境が大きく変化しています。

一方で、探究活動に取り組んでいても、その経験や学びを進路選択や志望理由書作成に十分生かせていないとの指摘があります。また、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験者増加に伴い、小論文や志望理由書の添削など個別対応の機会が増え、教員の負担増加も課題となっています。さらに、対策指導が特定の教員に集中したり、担当者によって指導内容に差が生じたりするといったケースも生じ、学校全体で継続的かつ効果的な指導体制を構築する重要性も高まっています。

こうした現状を踏まえ、河合塾は学校現場の課題解決を支援するため、2つの教員向けセミナーを開催します。

■ 探究活動を進路選択に生かす授業型プログラム体験セミナー

学校現場が直面する「探究活動で得た学びを進路選択に十分生かせない」「生徒が自身の進路選択の理由をうまく言語化できない」といった課題に対し、生徒が探究活動を通じて得た気づきや学びをもとに、自ら価値観や判断基準を整理し、主体的に進路を描けるよう支援することが重要です。

河合塾が学校向けに展開する『ミライの選択』は、こうした課題の解決を支援する授業型プログラムです。自己理解と他者との対話を通じて価値観や判断基準を整理し、主体的な進路選択につなげることをめざしています。

本セミナーでは、プログラムで実際に行う「決め方」のワークを参加者の教員に体験いただくとともに、学校の課題解決に『ミライの選択』をどのように活用できるのかを紹介합니다。また、複数校における活用事例も取り上げ、自校での探究・進路指導にどのように生かせるのかを具体的にイメージできる内容となっています。講演は、『ミライの選択』の開発に携わった河合塾学校事業推進部の山口大輔が担当します。

	判断基準				総合点
	将来の安定	自宅からの距離	やりがい		
総合評価	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	☆☆☆☆☆	
進路選択	医学	5 20	4 16	2 4	40
	看護学	4 16	5 20	3 6	42
	福祉系	3 12	3 12	4 8	32

▲ワークの一例（総合評価表）

■ 『ミライの選択』教員体験セミナー 概要

対象 : 進路指導主事・探究主任・学年主任をはじめとする高校・中高一貫校の教職員、教育委員会担当者

会場・日時：[対面開催]

●河合塾KALS新宿本校（東京都新宿区西新宿7-15-2） 10月19日（月）15:30～17:00

●河合塾大阪校（大阪府大阪市北区豊崎3丁目13-1） 11月26日（木）15:30～17:00

[オンライン開催]

Zoomウェビナー 11月11日（水）16:00～17:00

講演者：河合塾学校事業推進部部長 山口大輔

内容：『ミライの選択』の概要説明、ワーク体験、活用事例紹介

定員：対面開催 各回20名、オンライン開催 300名

参加費：無料

申込方法：次のURLからお申し込みください

<https://www.kawai-juku.ac.jp/r/teacherevent2610-mirai/>

申込締切：各実施日の7日前23:59



講演者：山口大輔

■生徒の「書けない原因」を仕分ける小論文指導セミナー

総合型選抜・学校推薦型選抜の拡大に伴い、出願書類や小論文の指導はますます重要になっています。一方で学校現場では、受験を控えた生徒一人ひとりへの個別対応が必要になるなか、対応できる教員が不足し、特定の教員へ負担が集中するケースも少なくありません。

本セミナーでは、河合塾小論文科の広川徹講師が、年内入試の最新動向を踏まえながら、進路指導現場が直面する「生徒が書けない」「教員が指導しきれない」という二つの課題にどう対応するかを解説します。生徒の思考力や表現力の課題を可視化するアセスメント教材『思考力・表現力チェック』を活用し、生徒一人ひとりの「書けない原因」を把握する方法も紹介します。さらに、成績データや添削結果を活用しながら指導を標準化する考え方や、実際の導入イメージについても取り上げます。

高校1・2年生のうちから思考力・表現力の基礎を育成することで、高校3年生での小論文・志望理由書の指導をより効果的・効率的に行うための実践的なヒントを提供します。



▲評価の軸となる「5つのability」

■生徒の「書けない原因」を仕分ける 小論文指導セミナー 概要

対象：進路指導主事・探究主任・学年主任をはじめとする高校・中高一貫校の教職員、教育委員会担当者

日時：10月29日（木）15:30～16:45

形式：オンライン（Zoomウェビナー）

講演者：河合塾小論文科講師 広川徹

内容：年内入試最新動向、指導現場で直面する「2つの壁」、校内対策の標準化、ケーススタディ、活用事例紹介

参加費：無料

申込方法：次のURLからお申し込みください

<https://www.kawai-juku.ac.jp/r/teacherevent2610-essay/>



講演者：広川徹

「探究活動と進路指導の接続」や「年内入試への対応」など、学校現場が抱える課題解決を支援するとともに、生徒一人ひとりが納得のいく進路選択を実現できる教育環境づくりに寄与する機会として、本セミナーを貴媒体でご紹介いただけますと幸いです。聴講も歓迎いたします。

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾グループ広報センター 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）